黄色の部分を記入してください。分からない、覚えていない場合は空欄にしてください。

【別紙】各種確認書（所属機関作成用）

参考様式

1 修学に必要な言語　■ 日本語　□ その他（　　語）

2 入学選考における語学能力の確認方法　Selection of Entrants

（該当するものを全て記載。試験の証明書により確認していない場合は、語学能力の確認方法について詳細に記載。なお、日本語教育機関（大学の日本語別科等を含む。）に入学する場合には、下記の□試験又は□面接の欄のいずれか一方は必ず記載すること。）

□ 試験　test

（1）試験名（日本語能力試験（JLPT）等）　Name of the test

（2）級又は点数　Attained level or score

（3）試験日　Date of the test

（4）試験場所　Place of test

（5）受験番号　Examinee number

□ 面接　Interview　（面接内容を具体的に記載）　※オンライン面接も可

判定：（　　試験　　級／点　相当）又は（日本語教育の参照枠／ヨーロッパ言語共通参照枠における　　相当）

例）入学に必要な語学力は日本語教育の参照枠におけるA1相当であるところ、面接においてA1レベルの問題を日本語で出題し、〇問中〇問日本語で回答（正答）した（選考基準は〇問正答）。

□ 書類確認　Check of documents

・ 語学学習歴証明書
教育機関及び学習期間
（1）機関名
Organization
（住所）
(Address)
（電話番号）
(Telephone No.)
（代表者名）
(Name of representative.)
（URL）
（2）期間：
Period　from　年（Year）　月（Month）　から　to　年（Year）　月（Month）　まで
（3）総学習時間
Period　時間 hour　うち申請時点における既学習時間　時間 hour

・ その他

□ その他（上記に記載した方法以外の確認方法（独自の入学試験等））（詳細な内容）　others（details）

判定：（　　試験　　級／点　相当）又は（日本語教育の参照枠／ヨーロッパ言語共通参照枠における　　相当）

例）入学に必要な語学力は日本語教育の参照枠におけるA1相当であるところ、筆記試験としてA1レベルの問題を出題し、〇〇点取得した（選考基準は〇〇点）。

※ 専修学校若しくは各種学校において日本語教育以外の教育を受ける場合又は高等学校において教育を受ける場合は、提出は不要です。
ただし、申請書の「日本語能力」又は「日本語学習歴」を必ず記載すること。

※ 前回の在留諸申請から在籍する教育機関に変更がない場合、提出は不要です。

※ 可能な限り詳細に記載願います。在留審査において疑義が生じている場合や記載内容が不足している場合、書類の追加提出を求める可能性があります。

※ 以下「教育機関／課程等名」については、教育機関、課程、学部、学科、専攻、コース等の名称を詳細に記載してください。

教育機関／課程等名：

申請人氏名（記名）：在留カードと同じように名前を記入してください。

※申請人本人の氏名を記載願います。